

九月廿四日



云

陸軍大臣岡市之助殿

政送第一五五號



八月廿七日

大正三年八月二十七日

外務大臣男爵加藤高明

陸軍大臣岡市之助殿

露國ノ戰時通用規定譯文送付ノ件

露曆七月二十四日附ヲ以テ公布セル露國ノ戰時通用規定ニ関スル勅令在浦潮斯德總領事代理ヨリ譯報有之候ニ付右寫別紙ノ通り及御送付候間御査閱相成度此段申進候也

別紙添附



## 勅令

露西亜カ今次戰時中準據スヘキ法規ヲ制定スルヲ必要ト認メ條約又ハ互惠主義ヲ以テ敵國臣民ニ與ヘタル特權恩典一切ノ効力ヲ停止セシム即チ現役ニ在ル者並ニ召集セラルヘキ敵國臣民ヲ戰時俘虜トシテ拘留シ當該官憲ヲシテ同國ノ臣民ヲ露國ノ版圖外並ニ一地方ヨリ退去セシメ並ニ之ヲ拘留シ及他ノ縣州内ニ居住セシム敵國臣民ノ露國內ニ入ルニ其都度當該官憲ノ許可ヲ得ルヲ要ス

露國ノ港ニ於テ戰爭ニ遭遇セル敵國ノ商船ヲ拘留シ其中豫メ軍艦ニ変更セラルヘキ構造ヲ有スルモノハ海上戰利品規則ニ記載セル手續ニ依リ同規則第十條ニ基キ之ヲ沒收ス

中立國ノ臣民ニ陸軍及海軍官憲ノ命令ヲ守ルヘキコト  
 ヲ條件トシテ露國ノ港及市ト商事關係ヲ故障ナク  
 繼續セシム

戰時ノ法律トシテ定メラル規則中相互的ナルコトヲ條件  
 トシテ尤ノ國際條約ヲ遵守ス

一八五六年四月十六日(四日)巴里海戰宣言

一八六八年十二月十一日(十一月二十九日)聖彼得堡宣言(爆裂  
 彈使用ヲ除外トス)

一八九九年七月二十九日(十七日)第一海牙平和會議ニ於テ  
 署名セル宣言即チ

窒息セシムヘキ瓦斯又ハ右毒質ノ瓦斯ヲ散布スルヲ唯  
 一ノ目的トスル投射物ヲ使用セサルノ宣言

外包被固ナル彈丸ニシテ其外包中心ノ全部ヲ蓋包セ

セス若クハ其外色ニ截刻ヲ施シアルモノ、如キ人體内ニ  
 入りテ容易ニ開展シ若クハ扁平トナルヘキ彈丸ヲ使用  
 セサルノ宣言

一九〇六年七月六日（六月二十三日）附戰地軍隊ニ於ケル病  
 傷兵救護ニ関スルシエネバ條約

一九〇七年十月十八日（五日）第二海牙平和會議ニ於テ署  
 名セル條約即チ陸戰ノ法規慣例ニ関スル條約陸  
 戰ノ場合ニ於ケル中立國及中立人ノ權利義務ニ関ス  
 ル條約、開戰ノ際ニ於ケル敵國商船ノ取扱ニ関スル  
 條約、商船ヲ軍艦ニ変更スルコトニ関スル條約、戰時  
 海軍力ヲ以テスル砲撃ニ関スル條約、シエネバ條約、  
 原則ヲ海戰ニ應用スル條約

元老院ハ之ヲ實施方ニ関シ相當ノ措置ヲ採ルヘシ

1716

千九百十四年七月二十四日

自署

大臣會議長副署